

## 5 横浜みどりアップ計画市民推進会議

### (1) 横浜みどりアップ計画市民推進会議の概要

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の推進に向けて、市民参加により、施策・事業の市民の皆さまへの情報提供、評価及び意見・提案等をしていただくため、平成21年5月に設置した組織です。

全体会議や部会を開催するとともに、現地調査を実施し、横浜みどりアップ計画市民推進会議の報告書を「横浜みどりアップ計画の評価と提案」としてまとめ、公表しました。

さらに、市民推進会議では、みどりのオープンフォーラムの開催や現地調査に加え、横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）や市民推進会議の活動内容を市民の皆さまへ情報提供することを目的として、広報誌「濱RYOKU（はまりよく）」を発行してきました。

【表】委員名簿（50音順・敬称略、平成26年3月31日時点）

氏名	役職等	備考
飯島章	横浜農業協同組合 常務理事	・「農地を守る」施策を検討する部会委員
池邊このみ	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授	・「緑をつくる」施策を検討する部会部会長 ・運営部会委員
伊藤博隆	公募市民	・広報部会部会長 ・「農地を守る」施策を検討する部会委員 ・見える化部会委員 ・運営部会委員
内田洋幸	元横浜農業経営士会 会長	・「農地を守る」施策を検討する部会委員
川井啓介	市民の森愛護会連絡会 会長	・「樹林地を守る」施策を検討する部会委員
佐々木明男	横浜市町内会連合会 副会長	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員
清水靖枝	長屋門公園管理運営委員会 事務局長	・広報部会委員 ・「樹林地を守る」施策を検討する部会委員
進士五十八	東京農業大学 名誉教授	・座長 ・運営部会部会長
田中佳世子	公募市民	・「農地を守る」施策を検討する部会委員 ・見える化部会委員
蔦谷栄一	(株)農林中金総合研究所 客員研究員	・副座長 ・「農地を守る」施策を検討する部会部会長 ・運営部会委員
中塚隆雄	公募市民	・「樹林地を守る」施策を検討する部会委員 ・見える化部会委員
望月正光	関東学院大学 経済学部 教授	・「樹林地を守る」施策を検討する部会委員 ・見える化部会部会長 ・運営部会委員
靱山民雄	元よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長	・「樹林地を守る」施策を検討する部会 部会長 ・運営部会委員

吉田洋子	公募市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報部会委員</li> <li>・「緑をつくる」施策を検討する部会委員</li> <li>・見える化部会委員</li> </ul>
若林史郎	横浜商工会議所 経済政策部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「緑をつくる」施策を検討する部会委員</li> </ul>

## (2) 取組内容

### ア 全体会議の開催

会議を開催し、横浜みどりアップ計画市民推進会議の報告書を「平成 24 年度横浜みどりアップ計画の評価と提案」としてまとめ、平成 25 年6月に公表しました。

#### <主な評価・提案の内容>

##### ○樹林地を守る

- ・計画策定前と比較して5倍以上のスピードで指定が進んでおり、樹林地の減少に歯止めをかけるという目的に対して着実に成果が表れていることを高く評価。
- ・指定の働きかけを粘り強く続け、指定した樹林地の維持管理への支援や、買い取った樹林地の良好な維持管理とともに、みどりアップ計画及びみどり税により樹林地が守られていることについて、市民が実感できる取組をより一層進めていくことが必要。

##### ○農地を守る

- ・農とのふれあいを求める市民の声が高まっている中、収穫体験農園の開設がおおむね順調に進んでいること、水田保全の取組は当初の目標とする面積の2倍以上となる実績をあげ、多様な機能を持つ水田のある農景観が保全されていることは高く評価。
- ・農園付公園を開設する取組は、用地の取得及び公園の整備は目標を下回っており、目標達成に向けて取り組むことが必要。

##### ○緑をつくる

- ・地域緑のまちづくり事業で、市民の身近なところでの緑化が着実に進んでいること、新たな取組として緑の少なかった都心区の緑化に必要な土地をみどり税を活用して買取り、緑化の取組を積極的に進めたことは高く評価。
- ・市民が緑を実感できる取組として、街のシンボルとなる緑の創出や、多くの市民が集まる場所・緑の少ない地域に重点を置いた取組を進めていくことが必要。

## イ 部会

- ・ 「樹林地を守る」施策を検討する部会、「農地を守る」施策を検討する部会、「緑をつくる」施策を検討する部会  
横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の各事業分野ごとに、評価・提案について協議しました。
- ・ 見える化部会  
市民の視点から、横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）と横浜みどり税を市民の皆さまへわかりやすく伝える方法について協議しました。
- ・ 広報部会  
市民推進会議の広報誌「濱 RYOKU」の編集を行いました。

## ウ みどりのオープンフォーラム

「身近な緑を感じよう！」をテーマに、市内民間事業者の敷地内緑地の見学、民間事業者などの緑化の取組紹介などを行い、みどりの意見交換会では、みどりアップ計画や民間事業者などの取組、身近な緑について、参加市民の皆さま、市民推進会議委員、行政が活発な意見交換を行いました。



【写真】みどりのオープンフォーラムの様子（10月27日開催）

## エ 現地調査

横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の現場で活動する方々や、市民の皆さまの声を直接聞くため、現地調査を実施しました。

### □第10回現地調査

「農地を守る」施策の実施箇所

- ・ 戸塚区舞岡町の農地（平成25年8月1日）
- ・ 収穫体験農園、共同直売所や、水田保全契約奨励事業の現地を調査し、農地の方と意見交換を行いました。

□第 11 回現地調査

「樹林地を守る」施策の実施箇所

- ・ 緑区新治町の樹林地及びウェルカムセンター（平成 25 年 11 月 9 日）
- ・ 市民協働による緑地維持管理事業、緑地再生等管理事業の現地を調査し、ウェルカムセンターにおいて現地 NPO の方と意見交換を行いました。



【写真】現地調査の様子（農地）  
（戸塚区舞岡町）



【写真】現地調査の様子（樹林地）  
（緑区新治町）



【写真】現地調査の様子（樹林地）  
（緑区新治町）ウェルカムセンター

オ 広報誌の発行

「濱 RYOKU」を 4 回発行しました。（平成 25 年 8 月、10 月、平成 26 年 1 月、3 月発行）



【図】「濱 RYOKU」のイメージ